

**[ 横浜市旭区民文化センター ]**  
**平成24年度事業計画書**  
**[ 相鉄・神奈川共立 共同事業体 ]**

施設の概要

施設名	横浜市旭区民文化センター サンハート
所在地	横浜市旭区二俣川一丁目3番地
構造・規模	鉄骨コンクリート造 地下1階地上6階建の、地上5階および6階の一部を専有
敷地・延床面積	専有面積 2,564㎡
開館日	平成2年8月4日

指定管理者

法人名	相鉄・神奈川共立 共同事業体 代表構成団体 株式会社相鉄エージェンシー
代表団体所在地	横浜市神奈川区栄町5番地1
代表団体代表者	取締役社長 櫻木 政司郎
代表団体設立年月日	昭和58年1月22日
指定期間	平成23年4月1日から平成28年3月31日まで

1 基本方針

(1) 基本的な方針

◆ 旭区民がいきいきと充実した生活を送るための文化芸術を通じた「喜びづくり」

指定管理者として2年目を迎える平成24年度は、23年度に経験した旭区民文化センターサンハートの運營業務の経験を踏まえ、引き続き、区民の喜びをつくり、旭区の地域活性化、地域価値向上の貢献というビジョンに向けて、事業のさらなる継続と展開を図ります。

そして、ビジョン実現のためのミッションは、改めて、「館の利用率の確保と満足度の向上」「世代間交流」「次世代の育成」と認識し、次の3点を軸に据えて事業計画を策定します。

1. さまざまな立場・ライフスタイルの区民のための、文化芸術との「出会いづくり」を推進します。
2. 文化芸術活動を通して、地域における区民・地域の「交流と仲間づくり」を推進します。
3. 質の高いサービスの提供による、区民・利用者の「満足づくり」を推進します。

## (2)平成24年度の位置づけ

平成24年度は、平成23年度から進めてきた、“区民と私たちが文化芸術を通じて「であう」”“区民と私たちが自主・共催事業などと共に「あゆむ」というサンハートにおけるコミュニティの構築をさらに進めながら、23年度に得たネットワークを活用して、参加型事業やアウトリーチ活動に注力し、であいを創りながら新たな楽しみ・発見を促す、「みつける・ひろがる」年とします。

### 1. 事業の方針

＜「鑑賞事業」「普及事業」中心から「育成事業」や「交流創造事業」へ重点をシフト＞

昨年度は「鑑賞事業」や「普及事業」を通じて新規利用者の開拓や区民参加の促進を行い、たくさんの方々に初めてご来館して頂きました。今年度はそうしたお客様と共に歩み成長するためのワークショップやコンクール事業などを重点的に展開します。

＜『イベント』ではなく『芸術プログラム』としての事業コンテンツ＞

ロビーコンサートや駅コンサート等、気軽に参加できるきっかけ作りとなるような催し物を実施する中で、お客様が「もっと知りたい」「もっと楽しみたい」と感じた時にすぐに次のステップを提案できるような仕組みで事業運営を行います。それぞれの事業を個々のイベントとして完結させず、シリーズ化したり発展性を持たせるなど、芸術総合プログラムとしての事業展開を実施します。

＜企画事業の効果を最大化するためのストラテジックプランニング＞

それぞれの事業の参加対象者に向けて最も効果的な広報・宣伝・販売促進方法を考案し、事業への参加動員につなげます。また、地域活性化という同じ目的を共有する企業や団体との協働体制を構築し、あらゆる手段で区民のアンテナに働きかけます。

＜相鉄グループのバックアップを利用して、区民目線での利便性を追求＞

一つの企画が認知されてから公演の幕が閉じるまでのサイクルが、区民の生活に寄り添い、区民にとって最も便利な方法で実施されるよう、事業の運営体制を見直します。今まではサンハートに来館いただかなければ出来なかった事を、電話やインターネット、さらに公共施設、学校、商業施設などの地域の拠点、及び駅を始めとする相鉄グループのバックアップなどを最大限に活用して、利便性を高めます。

### 2. 運営の方針

＜顧客満足度の向上と良質なサービスの提供＞

利用者・来場者の声をもとに「施設を利用できる時間」、「情報提供」、「利用相談への対応」、「利用者支援」など、利用者・来場者の立場に立ったユーザビリティの高い施設運営を行い、顧客満足度を高めます。

＜レベルの高い接遇・接客＞

安心と信頼の獲得のために、「職員の接遇・接客」に関する研修を行い、利用者に職員一人ひとりの“顔”が見えるような施設を目指します。

＜ニーズを運営に活かすシステムづくり＞

引き続き利用者・区民の声を収集し、効果的に施設運営に反映させる仕組みづくりをします。データを収集するだけでなく、そこから利用者のニーズを汲み取り、活かす業務改善システムを構築。改善結果を公表することで利用者の要望に対するレスポンスを実施していきます。

### 3. 管理の方針

#### <二俣川駅北口共同ビル管理組合との一体管理>

構成団体である相鉄企業は二俣川駅北口共同ビルの管理組合事務業務と建物維持管理業務を併せて受託しているという利点を活かし、更なる効率的な管理を追求しコストパフォーマンスの高い維持管理を実現します。

#### <施設予防保全の実現>

「今、施設や設備がどのような状態か」を踏まえ、「今後施設や設備はどうなっていくか」について、将来を見据えた予防保全(中長期修繕計画・設備機器更新計画の策定・提案)に取り組みます。

## 2 自主事業に関する計画【別紙1】

### (1)文化事業の企画および実施について

企画事業は「鑑賞事業」、「普及事業」、「育成事業」、「交流創造事業」の4つのカテゴリを見据えて、総合的な5ヵ年の事業全体のビジョン実現に向けて取り組みます。

[取組内容]	[達成指標]
<p>●鑑賞事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 身近で良いものを手ごろな価格で鑑賞できる環境を整え、沿線価値向上に貢献します。</li> <li>□ 年に一度「サンハートスペシャル」として、一流のアーティストによる公演を実施し、地域の文化芸術活動を牽引し、地域活性化につなげます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 手話を使ったダンスパフォーマンスや0歳から参加可能なファミリーコンサート等、あらゆる客層が参加できる企画内容を考案します。</li> <li>□ 会場内にベビーカー置き場を設置したり、ターゲットに応じた公演時間・チケット料金を考慮する等、あらゆる客層に対応した柔軟な運営方法を工夫します。</li> <li>□ 参加者を対象としたアンケートを引き続き実施し、寄せられた意見を事業に反映し、満足度 80%を目指します。</li> </ul>
<p>●普及事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ これまで芸術文化にあまり接点のなかった芸術文化初心者も気軽に参加するきっかけとなるような企画を実施します。</li> <li>□ 何らかの理由で来館が困難な方々が、芸術文化活動から離れていくのを防ぐため、アウトリーチ等の出前事業を展開します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 「ロビーコンサート」や「親子でリズム！リズム！！リズム！！」等、若年層、特に子育てファミリーが、関心を高め、気軽に参加できるコンテンツを継続します。</li> <li>□ 「駅DEライブ」や「オープンデー」等、多くのお客様が初めてサンハートの活動を知るきっかけとなる事業では、きっかけづくりだけで終わらないよう、他事業と計画的に連携を取り、持続性のあるプログラムを提供します。</li> </ul>
<p>●育成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 芸術文化を担う次の世代の育成を図ります。</li> <li>□ 区民企画委員を引き続き募集し、区民目線ならではの企画を実施します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 現役で活躍するアーティストや音楽家を講師や審査員として招き、講座やオーディションを実施し、現代(「今」)の文化芸術をタイムリーに若い世代に伝達し育成します。</li> <li>□ サンハートが今まで培い、また区民に愛されてきた「夏休みハンドベル講座」や「バレンタインコンサート」等、サンハートの伝統企画を継承します。</li> </ul>
<p>●交流創造事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ サンハートと区民が一体となって文化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 平成 27 年度(サンハート 25 周年)を最初のゴール地点と捉え、長期的な計画に基づいて、本年度は演劇とジャズの二つ</li> </ul>

<p>芸術を育む事が出来る企画を実施します。</p> <p><input type="checkbox"/> 事業を通じて区民が交流し、互いに刺激し合い芸術的且つ社会的に成長できる環境を提供します。</p>	<p>の軸で、「交流」をキーワードにワークショップ事業を始動します。</p> <p><input type="checkbox"/> 次年度への継続希望率 50%を目指します。</p> <p><input type="checkbox"/> 指導者となるプロのアーティストから客観的な評価を頂き、次年度に活かせるような運営体制を整えます。</p>
---	---

(2) 地域の文化活動に対する協力体制の構築(サポーター制度)について

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域活性化、地域価値向上等の目的を共有する企業や団体との協力体制を築きます。</li> <li>● 旭区の優れた文化事業を事業共催を通して支援します。</li> </ul>	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 平成 23 年度に協賛いただいた企業に引き続き協力の依頼を行います。</li> <li><input type="checkbox"/> 二俣川ライフ内の店舗と「友の会」会員を対象としたクロスプロモーションプランを始動します。</li> </ul>
---	--

(3) 自主事業に関する情報の提供及び効果的な広報宣伝活動について

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 館の顔としての自主事業の活動を広く告知宣伝します。</li> <li>● ターゲットとなる顧客層を把握し、最も適切な手段でPR活動を行います。</li> </ul> <p>&lt;PR手法の例&gt;</p> <p>①催し物案内 ②プレスリリース ③区報 ④ウェブサイト ⑤印刷物 ⑥館内掲示 ⑦SNS ⑧広告 等</p>	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> あらゆるPR手法を昨年に引き続き活用すると共に、ツイッター等、新たな手法を試案します。</li> <li><input type="checkbox"/> 徹底したスケジュール管理を行い、戦略的にPR活動を行います。</li> <li><input type="checkbox"/> 他館との協力体制を強化し、互いに助け合いながら効果的なPR活動を実施します。</li> </ul>
--	--

(4) 自主事業を中心とした事業全体のマーケティングについて

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 区民目線での利便性を徹底的に検証し、事業が認知されてから参加に至るまでの一連の流れを改善します。</li> <li>● 固定客に対してチケット割引サービス等を提供する「友の会」制度を継続します。</li> </ul>	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 従来の来館型チケット販売方法ではなく、あらゆる客層に対応した多種多様な販売方法を考案し、実施します。</li> <li><input type="checkbox"/> 友の会会員数 100 名を目標とします。</li> </ul>
---	--

### 3 施設の運営に関する計画

#### (1) 顧客満足度の向上について

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 平成23年度の運営を踏まえ、利用者ニーズに適したサービスを実施します。</li> <li>● アンケートやヒアリング等から区民・利用者のニーズを的確に把握します。</li> <li>● 要望に対してはレスポンスし、目に見える運営をします。</li> </ul>	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 施設利用者の発表会の広報支援や、直近1ヶ月以内のホール・諸室の空き状況をホームページでリアルタイムに発信する等により顧客満足度を向上させます。</li> <li>□ 期間限定の利用者アンケートや自主事業等随時実施の来館者アンケートをはじめ、年1回利用者懇話会等のヒアリングを継続することにより、ご意見・ご要望を的確に把握してサービス向上に努めます。</li> <li>□ 改善結果については、館内またはホームページ等で公表することにより、意見収集に留まらない利用者への回答と説明を行い、常に対話を図ります。</li> </ul>
---	---

#### (2) 的確な施設提供の実現について

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 効率的且つ安定した施設の開館・運営を行います。</li> <li>● 利用者アンケートや利用者懇話会からの声を基に満足度向上・利用促進を図ります。</li> <li>● 施設利用者へ専門的な利用方法等効果的なアドバイスを行います。</li> <li>● 周辺施設と連携して地域全体の賑わい作りに貢献します。</li> <li>● 施設を有効活用し、施設の魅力作り・活性化を図ります。</li> <li>● 利用者へ施設のホール・諸室の空き情報をリアルタイムでよりわかりやすく発信します。</li> </ul>	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 開館日数 345日 休館日 20日 年末年始 12月29日～1月3日 施設点検・消防設備点検 14日</li> <li>□ 相鉄線各駅、関連施設、公共交通等、様々な媒体を活用し、施設のPRを充実させ稼働率向上、利便性向上に努め、有機的な施設運営をしていきます。</li> <li>□ 舞台技術を含め、専門性をもった職員が常駐して、利用者からの相談・下見・利用打合せをはじめ、トラブル等緊急時にも迅速に対応します。</li> <li>□ 予約システムで閲覧できない直近1ヶ月以内のホール・諸室の空き情報を引き続き施設内、ホームページでもリアルタイムに更新し、タイムリーな情報提供で利便性を高めます。</li> </ul>
---	--

#### (3) 的確な広報の展開について

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域・区民の文化芸術情報発信拠点としての役割を担います。</li> <li>● 利用者のニーズに合った情報を揃え、効果的な広報を実施します。</li> </ul>	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 情報コーナーの、文化芸術資料を再点検し、文化センターにふさわしい情報を提供できる、雑誌・図書・情報誌を設置するほか、類似の他施設情報の紹介を行うなど様々な文化芸術情報を得る事ができるスペースとして整備を進めます。</li> </ul>
--	--

	<input type="checkbox"/> 利用者の声を聞き入れながら、文化施設としての観点から、情報に優先順位を付け、メッセージ性のある広報を行います。
--	--

(4) 専門性と区民の力を統合する組織づくりについて

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 事業企画・施設管理・舞台技術の経験・実績豊かな職員・専門スタッフと、区民をはじめとした地域スタッフを配置し、全ての職員が適切なコスト感覚、効率的な管理とホスピタリティ精神をもった運営を行います。</li> <li>● 職員・スタッフの施設運営スキルアップのために研修を実施します。</li> </ul>	<p>[達成指標]</p> <input type="checkbox"/> 以下の通り人員を配置し運営します。 <b>【運営スタッフ】</b> ※2交代、常時2名以上配置 館長 1名 副館長 1名 職員 5名 <b>【舞台技術】</b> ※利用状況により1～3名 職員 4名 <b>【受付スタッフ】</b> カルチャースタッフ12名(地域採用) <input type="checkbox"/> 機材研修、個人情報研修、消防訓練等を実施し、運営に役立っています。
--	---

4 施設の管理に関する計画

(1) 安全で効率的な維持管理・予防保全について

<p>[業務内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 安全・安心できる施設の維持</li> <li>● 定期的な設備点検</li> <li>● 必要に応じた緊急点検</li> <li>● 施設設備の予防保全</li> </ul>	<p>[達成指標]</p> <input type="checkbox"/> 設備等保守管理項目を遵守し、定期的な施設点検を実施します。 <input type="checkbox"/> 老朽化した建築、設備のリスクマネジメント評価を行い、修繕計画の適正化を図ります。 <input type="checkbox"/> 月1回の定期的な施設点検の他に、建築物点検マニュアルに準拠した点検及び、建築物定期報告に準拠した点検を年1回行います。
--	---

(2) 快適な環境の維持管理について

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 安心できる環境の維持</li> </ul>	<p>[達成指標]</p> <input type="checkbox"/> 清掃項目一覧及び清掃内容一覧を遵守し、日常・定期清掃を実施します。 <input type="checkbox"/> 共有スペース(受付や情報コーナー)の美観を維持します。 <input type="checkbox"/> 環境に配慮し、廃棄物の発生抑制に努めます。 <input type="checkbox"/> 空気環境測定(VOC等含む)を実施し報告書を作成します。 <input type="checkbox"/> 社内による、業務の品質管理点検を実施し、特別清掃・日常清掃の計画を策定します。 <input type="checkbox"/> ヨコハマ3R夢など市の施策や事業に協力します。
--	---

## 5 その他の計画

### (1) 危機管理対策について

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 緊急時の対応</li><li>● 利用者の安全・安心を確保</li><li>● 防災管理</li></ul>	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"><li>□ 緊急内容別(事故、犯罪、火災、設備故障など)に連絡網の整備を行います。</li><li>□ 大規模災害等が発生した場合は、行政機関と連携を図りながら取り組みます。</li><li>□ BCP 計画策定の基礎資料を作成します。</li><li>□ 緊急時の連絡網作成し、市へ提出します。</li><li>□ 近隣在住職員をあらためて確保します。</li><li>□ 事故、犯罪及び火災等が発生させない為に、職員による定時巡回を実施し、職員不在となる時間帯などは機械警備を行います。</li><li>□ 消防計画書を作成します。 自衛組織を結成し、日常の防火・防災に努めます。 催事の際は、避難導線の確保・喫煙場所の指導を行います。 消防訓練を行います。</li><li>□ 対応マニュアルを作成します。 年2回防火・防災訓練を実施します。</li></ul>
--	--

### (2) 自己評価・PDCAサイクルの活用について

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 日報及び月報の作成・管理(業務記録の整備)</li><li>● 業務計画書及び業務報告書の作成・管理(利用者のニーズや声を反映した業務計画の策定)</li><li>● モニタリングの実施(モニタリングへの対応・体制の整備)</li><li>● 自己評価の実施(自己評価、PDCA サイクルの導入と確実な運用)</li></ul>	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"><li>□ 業務記録の適正な作成・保管と共に重要な件に関して随時報告をおこないます。</li><li>□ PDCA サイクルの推進とともに重要な件に関して随時報告出来る体制づくりに取り組みます。</li><li>□ 業務記録の一元管理によるモニタリングへの対応・体制を構築します。</li><li>□ 利用者アンケートの結果や利用者の声を、常に自己評価に反映させながら施設運営に取り組みます。</li></ul>
--	--

## 6 収支について

### (1) 経費削減の努力について

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 管理運営コストの削減に努めます。</li> </ul>	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□無駄な光熱水費の削減と、業務効率化等による無駄なコストの削減に努めます。但し、利用者の満足を阻害するようなサービス低下につながる必要コストの削減はしません。</li> <li>□軽易な修繕については職員自ら行い、修繕費を有効に活用します。</li> </ul>
--	--

### (2) 収入向上の努力について

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 収益向上、適正な受益者負担を設定し、外部資金獲得に努めます。</li> </ul>	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ホール・諸室の空き状況をホームページにてリアルタイムに公開し、収益の向上を図ります。</li> <li>□魅力的な事業を実施し、入場料収入を最大限に確保します。</li> <li>□引き続き、事業協賛金、広告収入の確保に努めます。(共同事業体本社のバックアップ体制)</li> </ul>
--	--

### (3) 収支予算書

項目	予算額	備考
収入		
指定管理料収入	101,000,000	
利用料金収入	35,000,000	
事業収入	4,000,000	
その他収入	1,000,000	
収入合計	141,000,000	

支出		
人件費	67,500,000	
管理費	54,730,000	
事務費	4,800,000	
事業費	9,370,000	
一般管理費	4,600,000	
支出合計	141,000,000	
収支差額	0	

【別紙1】

自主事業フレーム

1. 鑑賞事業	一般向け	身近で良いものを手頃な価格で楽しむ 「あさひ亭まねき寄席」
		サンハートスペシャル「五大路子舞台公演」(2回実施)
	特定のターゲット	子育てファミリー向け 「モバイルプラネタリウム」「ファミリーコンサート」
		障がいのある方と共に楽しむ「HANDSIGN ダンスライブ」 若年層向け「やまもときょうこラテンナイト」
2. 普及事業	新規顧客開拓	「駅コンサート」、「オープンデー」
	芸術離れを防ぐ	「ロビーコンサート」、「アウトリーチ」
	固定客の関心を広げる	「美音倶楽部」
3. 育成事業	ワークショップ	「ハンドベル体験講座」、「お仕事体験講座」、「親子でリズム!!リズム!!!リズム!!!」、「似顔絵ワークショップ」
	オーディション	「サンハート・アンサンブル・オーディション」
	体験学習	区民企画委員再募集、「バレンタインコンサート」
4. 交流創造事業	演劇	「五大路子演劇ワークショップ」
	ジャズ	「佐山雅弘ジャズワークショップ」
5. その他	地域の協力体制の構築	サポーター制度
		クロスプロモーション体制
		事業共催
	PR・マーケティング	広報宣伝活動
		サンハート友の会
		販売促進活動

自主事業一覧

No	実施時期	事業タイトル	会場	事業内容	入場見込	事業費
1-1	24年 6・9・12 月、25年3 月 年間計4 回	あさひ亭 まねき寄席	ホール	若手落語家による公演。季節毎にテーマを設け、落語ファンのみならず幅広い客層を開拓する。	1,200人	年4回合計 ¥1,120,000
1-2	24年 5、7月	【サンハートスペシャル】 五大路子 舞台公演 (野口雨情、長谷川伸の作品等)	ホール	五大路子と「横浜夢座」の協力によって実施する舞台公演。今年度後半からスタートするワークショップシリーズのキックオフイベントとして実施。	600人	年2回合計 ¥1,000,000
1-3	24年4月	モバイルプラネタリウム 宇宙に関するCG展	ホール ギャラリー	移動式プラネタリウムをホールで、宇宙に関するCG展をギャラリーで開催。平成24年に観測される珍しい天文現象についての解説あり。	1,000人	¥420,000
1-4	25年3月	ファミリーコンサート	ホール	0歳から楽しめるクラシックコンサート。サンハート・アンサンブル・オーディションの最優秀グループへの演奏機会提供も兼ねる。	300人	¥400,000
1-5	24年9月	HANDSIGN ダンスライブ	ホール	手話ダンスチームHANDSIGNによるダンスパフォーマンス。入場料の一部を東日本大震災被災地復興支援の為にチャリティー金とする。	300人	¥550,000
1-6	24年8月	やまもときょうこ ラテンナイト	ホール	平成23年度に人気の高かった、やまもと	300人	¥500,000

				きょうこによるラテンジャズライブ。ライブの合間に観客参加型の企画も盛り込む。入場料の一部を東日本大震災被災地復興支援の為にチャリティー金とする。		
2-1	24年 4、10月	サンハートプレゼンツ駅DEライブ	二俣川駅	二俣川駅改札前広場でのアコースティック系音楽のアウトドアコンサート。	1000人	¥360,000
2-2	24年8月	オープンデー	諸施設	サンハートの諸施設を全面的に開放し、楽しい催し物に気軽に参加できる夏休みの一日限りのイベント。	1,000人	¥500,000
2-3	24年 5・7・9・11 25年1月 一日2回 年間10回	ロビーコンサート	ホール ロビー	乳幼児や車椅子のお客様も広々と参加できるショートプログラムコンサート。	1,500人	¥100,000
2-4	年間計6回	アウトリーチ	旭区内 各所	小学校や福祉施設へ、出前コンサートやワークショップのコーディネートを行う。	1,200人	¥750,000
2-5	24年 5・6・7・9 10・11月 25年 2・3月 年間計8回	サンハート 美音倶楽部	ホール ロビー	区民所有のアナログレコードをサンハート製作の真空管アンプとスピーカーシステムを使って鑑賞。テーマ性のあるレコードコンサートを実施。	200人	¥24,000

3-1	24年8月	夏休み子供講座 (ハンドベル、ホールのお仕事体験)	カルチャ ー工房、 ホール等	サンハート専属のハ ンドベルチーム経験 者による子供の為の ハンドベル講座と、 ハンドベル発表会の 裏方全般を担当する ホールのお仕事体験 講座。	50人	¥200,000
3-2	24年10月	親子でリズム!!リズ ム!!リズム!!!	ホール	乳幼児を対象に、初 めて音やリズムと触 れ合う機会を提供。	200人	¥100,000
3-3	24年11月	似顔絵 ワークショップ	ミーティ ングル ーム	木炭を使って互いに コミュニケーションを 取りながら似顔絵や 自画像を描く黒田晃 弘さんによるオール 世代対象のワークシ ョップ。	50人	¥100,000
3-4	24年8月	サンハート・ アンサンブル・ オーディション・	音楽ホ ール	地域のアマチュア音 楽家や近隣の音大 生を対象に、クラシッ ク室内楽を中心とし たアンサンブルのオ ーディション。入賞者 はファミリーコンサ ートやロビーコンサ ート等の出演権を獲得す る。	100人	¥350,000
3-5	通年	区民企画委員	ミーティ ングル ーム 等	区民の目線を通して サンハートならではの 企画をプロデュ ースする。区民企画委 員は公募にて募集 し、月1回の会合を 通して「バレンタイン コンサート」等の企画 運営を行う。	10人	¥352,000

4-1	24年 10～12月	五大路子 演劇ワークショップ	ホール カルチャー 工房	五大路子と「横浜夢 座」のメンバーによる オール世代対象の 演劇ワークショップ	30人	¥840,000
4-2	25年 1～3月	佐山雅弘 ジャズワークショップ	ホール 音楽工房	佐山雅弘とクインテ ットメンバーによるピ ックバンドのジャズワ ークショップ。	30人	¥840,000
5-1		サポーター制度		協賛、団体割引、広 告収入等、サンハ ートの事業趣旨に賛同 される企業や団体と の連携を強める。		¥24,000
5-2		クロスプロモーショ ン体制		二俣川ライフや地 域の公共施設と協力体 制を整え、互いにメリ ットのあるプロモーシ ョン方法を考案する。		¥24,000
5-3		事業共催		旭区の文化芸術活 動に特に貢献する団 体を事業共催として 支援する。		¥0
5-4		広報宣伝活動		サンハートの各事業 についての的確な広報 宣伝活動を行う。		¥240,000
5-5		サンハート友の会		固定顧客層への優 遇体制を整え、顧客 満足度向上を図る。	100人	¥96,000
5-6		販売促進活動		従来に来館型販売 方法から、より幅広 い方法を試案する。		¥60,000
		その他諸経費		郵送費、打合せ費等		¥420,000